

# 令和4年度の教育活動等に対する学校評価書

令和5年2月25日

学校法人瑞光学園河輪幼稚園長 森 俊彦

学校法人瑞光学園河輪幼稚園学校関係者

代表 鈴木 章弘

## 1 幼稚園の教育目標

人が人として社会生活していくための基本的な生活習慣の習得

## 2 本年度の重点目標(学校評価の具体的な目標や計画)

気になる子への対応が求められるので、共通理解と個々の対応を確認していく。

## 3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果 (※評価点をそれぞれ表示すること。)

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価点	幼稚園の取組・反省と改善策	評価点	評価・意見
保育のあり方	・計画性	B	事前準備不足の点があり、共通理解を深める。	A	行事を予定通り進め、対応を評価する。
	・保育実践	B	教員相互の確認不足があった。個々の連絡を取り合う。	A	子どもが楽しく過ごして、評価できる。
	・幼児対応	B	時間に追われてしまうことがあったため、事前確認を確実にする。	A	子どもに対して、よく目が届いていたと思われる。
保護者	・保護者対応	B	連絡等頻繁にしていたが、保育理解において十分な理解を得られていなかった。今後とも連絡を密にしていく。	A	連絡を多く取り、子どもの様子を知ることができ、対応は良かったと思われる。
	・アンケート	B	園の対応は理解してもらえてが、不十分な点があり、今後とも改善をしていく。	A	保護者の多くが評価しており、十分な結果と思われる。
研修他	・自然の係わり	B	自然とは関りを持てたが、時間的にもっと多くの時間を持てるようにしたい。	A	外に出ることで、子どもたちが元気に過ごしていた。
	・社会関連	B	外部施設に行く時間が多く持てるよう工夫していく。	A	外へは難しい点があり、対応は難しい。
	・教師の資質他	B	要注意幼児への対応を工夫していく必要がある、今後の	A	今後とも研鑽し、子どもたちのために頑張っ

			課題と思われる。		てほしい。
--	--	--	----------	--	-------

※評価結果の表示方法

A	十分に成果があった
B	成果があった
C	少し成果があった
D	成果がなかった

4 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
要留意児への対応	保護者と連絡を密にし、外部関係者との相互理解をしていく。 子どもの様子を園全体で確認していく。
少人数への対応	他学年との関係を持ち、競争心を持たせていく。 様々な体験をさせることで、成長を促していく。
保護者への連絡	多くの機会を見つけ、保護者との連絡確認を密にしていく。